

『スリムシティさっぽろ計画』(素案)の主な施策

◎は新規施策

家庭ごみ

ごみ減量・リサイクルを強力に推進するために、
総合施策と家庭ごみ有料化を実施します

総合施策

発生・排出抑制	◎簡易包装、レジ袋削減など環境に配慮した店舗や事業者を認定・表彰します
資源化の取り組み	○集団資源回収を充実させます
	○回収拠点を整備します ◆土日・夜間も利用できる回収拠点を拡大し、利便性を向上させる。 ◆『地区リサイクルセンター※』を整備する。(清掃事務所を中心に) ◆廃食油の回収拠点を大幅に拡大する。 <small>※地区リサイクルセンター：主要古紙や草木類など、様々な種類の資源物を無料で持ち込める施設</small>
	◎「生ごみ」の減量・資源化を推進します ◆堆肥化機材や生ごみ処理機を助成する。 ◆『リサイクル・パートナーシップ制度※』による収集・資源化を行う。 <small>※リサイクル・パートナーシップ制度：町内会などの希望団体を対象に、各家庭で分別した資源物を町内会などが自主的に集め、それを市が無料回収して資源化する制度</small>
	◎「草木類」の減量・資源化を推進します ◆『リサイクル・パートナーシップ制度※』による収集・資源化を行う。
新たな分別収集と資源化	◎「雑がみ」を新たに分別収集します ◆雑がみ(紙製容器含む)を資源物として分別収集し、選別後、製紙工場での製紙原料や固形燃料としての資源化を行う。
普及啓発環境教育	○「環境首都・札幌」宣言と連動し、ごみ減量・リサイクルに関する行動を喚起します ○学校に重点を置いた環境教育に取り組みます

家庭ごみの有料化

◎有料化の制度内容 ◆有料化の対象等 ⇒「ごみ」から「資源」への誘導を図るため、「廃棄ごみ」と「資源物」の間で手数料の料金水準に差を設ける。 ⇒手数料の料金水準は、ごみを減量しようとする経済的動機付けが働くよう設定する。ただし、市民にとって過度な負担とならないことや近隣市町村の料金水準との均衡を考慮する。 ◆手数料の徴収方法 ⇒手数料が含まれている「指定袋」を販売する。 ⇒「指定袋」はいくつかの大きさを用意する。
◎減免制度 ◆子育て・介護支援 ⇒新生児や高齢者・障がい者が使用する紙おむつについて検討。 ◆地域コミュニティの形成・まち美化 ⇒地域清掃ごみについて、ボランティアごみ袋の導入を検討。
◎手数料の使途 ◆得られた手数料は、ごみ減量・リサイクルの促進、環境教育・普及啓発の充実、地域における環境活動への支援、さらには地球温暖化対策などに充てる。
○清掃事業コストの明確化 ◆清掃事業に係るコストを明確し、清掃事業費の内訳や有料化による手数料の使途を含めて、わかりやすく公開する。
清掃事業の効率化 ○収集業務や清掃工場・埋立地の効率化を進めます

ごみステーション対策を強化します

◎ごみステーション管理機材の購入助成
◎『さっぽろごみパト隊』を配置 ◆清掃事務所にパトロール隊員を配置し、ごみステーションへの管理支援を行う。 ◆不適正排出や不法投棄を防止するため、地域の監視パトロールを実施する。
◎共同住宅への対策を強化 ◆新築の共同住宅について、敷地内のステーション設置の義務付けを行う。 ◆共同住宅のオーナーや管理会社による分別指導の義務付けを行う。 ◆共同住宅ごとに排出指導台帳を作成し、それに基づく指導を行う。
◎「燃やせるごみ」の早期収集を検討 ◆「燃やせるごみ」はできるだけ早い時間帯に収集することを検討する。

ごみの収集・分別方法はこのようにならびます

廃棄ごみ	
○燃やせるごみ	週2回
○燃やせないごみ	週1回 ⇒◎見直しを検討(月1回)
◎大型ごみ⇒基準の緩和を検討	電話申込制による有料戸別収集
資源物	
○びん・缶・ペットボトル	週1回 ⇒※プラスチックと別日収集を検討
○容器包装プラスチック	週1回 ⇒※びん缶ペットと別日収集を検討
◎雑がみ(紙製容器含む)	新規 ⇒月2回以上(検討中)
◎製品プラスチック 燃やせないごみ ⇒ 燃やせるごみへ変更 ◆製品プラスチックはかさばるため、埋立地の容積を大きく消費している。今後、清掃工場でのプラスチックの適正な焼却体制が整うため、埋立地の延命化の観点から分別区分を「燃やせないごみ」から「燃やせるごみ」に変更する。	